

| 経過 | 手術当日 | 手術後1日目 | 手術後2日目～ICU退室 |
|-----------|---|--|--|
| 月日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 ~ 月 日 |
| 到達目標 | 精神的に落ち着き、安静を保持することができる | 酸素飽和度が安定し、排痰することができる ベッド上で背もたれを使用し、座ることができる | ベッドから足をおろして座ることができる 自分で立つことができる |
| 治療処置薬剤 | <ul style="list-style-type: none"> 首と両手に点滴が入ります。必要に応じて、血液製剤や輸血を行います 点滴から、血圧を上げる薬、心臓の動きを助ける薬、抗生剤、胃薬、痰を出しやすくする薬などを使います 胸の中に血液がたまらないように管が2-3本入り、機械で持続的に吸引します 心電図などたくさんコードが体に付きます 心臓の動きを補助するためにペースメーカーが付きます 口からチューブが入り、呼吸器で呼吸を助けます。そのため、声が出ません 自分で痰を出せないため、管を使って痰の吸引をします 吐き気を予防するために鼻から胃までチューブが入ります | <ul style="list-style-type: none"> 呼吸が安定したら、口のチューブを抜いて、酸素の吸入をします 痰を出すために、吸入をしたり、深呼吸や上肢拳上運動を行います 鼻のチューブを抜きます お水が飲めるようになれば内服が始まります | <ul style="list-style-type: none"> 食事が入るようになれば首に入っている点滴を抜きます 手の点滴はしばらく続きます。 胸の管からの排液量が減少してきたら、管を抜きます ワーファリンの内服がはじまります |
| 手術 | □無・□有(術式:) | | |
| 全身管理 | <ul style="list-style-type: none"> 心電図モニターを常時装着し、不整脈などの確認をします 頻回に血圧を測ったり、体の観察をします 尿量を定期的に測定します 体温に合わせて、電気毛布を使用し体を温めます 痛みがあれば、痛みどめを使います リフト式の体重計で体を浮かせて体重を測ります 深部静脈血栓予防のために弾性ストッキングを履きます | <ul style="list-style-type: none"> 左に同じです | <ul style="list-style-type: none"> 左に同じです 立って体重計で体重を毎日測ります |
| 検査 | <ul style="list-style-type: none"> 血液や心電図の検査をします 時間毎に血糖値を測ります | <ul style="list-style-type: none"> 左に同じです レントゲン検査をします 食事開始後は食前・眠前に血糖値を測ります | <ul style="list-style-type: none"> 左に同じです |
| 活動・安静 | <ul style="list-style-type: none"> お薬を使って眠ってもらい、臥床安静となります 血圧等が安定したら、徐々にベッドの背もたれを起こします 床ずれ予防と痰がでやすくなるように、看護師が時間毎に体の向きを変えます 足の屈伸運動や上肢の拳上運動を行います | <ul style="list-style-type: none"> 血圧などが安定していれば、ベッドの背もたれを少しずつ起こし、しっかり座ります 呼吸器が外れたらベッドから足を下して座る練習をします | <ul style="list-style-type: none"> ベッド上では自由に動けます ベッドから足をおろして座る練習をします ベッドサイドで立つ練習や足踏みをします 立位が安定していればICU内を歩く練習をします |
| 食事栄養指導 | <ul style="list-style-type: none"> 食べたり飲んだりはできません 点滴で水分や栄養を補給します | <ul style="list-style-type: none"> 口のチューブが抜けてしばらくしたらお水が飲めます(飲水量には制限がある場合があります) 夕方から食事が始まります(三分粥から1日あがり)(ワーファリン内服のため、納豆は食べられなくなります) | <ul style="list-style-type: none"> 左に同じです |
| 清潔 | <ul style="list-style-type: none"> 看護師が洗面介助をします 看護師が口腔ケアを行います | <ul style="list-style-type: none"> 看護師が体を拭きます 食事の前に手浴をします 歯磨きをします | <ul style="list-style-type: none"> 左に同じです |
| 排泄 | <ul style="list-style-type: none"> 尿道カテーテルが挿入されており、自然に尿がでます | <ul style="list-style-type: none"> 左に同じです 排便はゴム便器使用となります | <ul style="list-style-type: none"> 主治医の許可がでたら尿道カテーテルを抜きます 座位が安定していれば、ポータブルトイレを使用します |
| 患者・家族への説明 | <ul style="list-style-type: none"> 主治医が手術後に病状説明を行います 面会ができます 大事なチューブがたくさんあるので抜いてしまわないように注意しましょう 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください | <ul style="list-style-type: none"> 手術後は痰がたまりやすいので、しっかりと痰をだすようにしましょう | <ul style="list-style-type: none"> 状態に合わせて動く範囲をどんどん広げていきましょう |

※ 症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※ なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名